

活動報告



5月 ・オープンキャンパスにて個別相談会開催及びイベント時一時託児サービス実施（17日）
・平成26年度第1回男女共同参画推進委員会議（22日）

6月 ・介護セミナー「介護入門講座 ～知っておきたい介護保険と制度について～」を開催（13日）
・けいはんな女性研究者ネットワーク茶話会（13日）

今後の活動予定

7月 ・スタートアップ研究費報告会（23日）
10月 ・第7回男女共同参画推進シンポジウム（24日）

TOPIC!

介護セミナー「介護入門講座 ～知っておきたい介護保険と制度について～」を開催

男女共同参画推進におけるワーク・ライフ・バランスを考える一環として、6月13日（金）に介護セミナー「介護入門講座 ～知っておきたい介護保険と制度について～」を開催しました。



「介護」をテーマにしたセミナーは、今年度初めて同室主催で企画したもので、奈良県長寿福祉課の担当者の方に講演していただきました。学内から33名の参加があり、介護に対する関心の高さが窺えました。

講演では、介護保険制度についての説明や、実際の介護サービスの利用手続き方法、また利用できる介護サービスの種類などについて詳細な説明があり、介護サービスを受けるための自治体の相談窓口や介護度認定のための手続きの流れ、また要介護度によって受けることのできるサービスの違いなどについても具体的な説明がありました。

参加者からは「知らなかった内容が多く、とても参考になりました」、「さらに事例を挙げた深い内容を今後希望したいです」、「介護の実情や、具体的な事例などについても教えてほしい」など、今後のセミナーの内容に期待を寄せるご意見もありました。

今日の高齢社会において「介護」は身近で切実な問題の一つとなっており、「介護はまだ先のこと」と思っているにもかかわらず、いざ自分の家族に介護が必要となった時、十分な情報や知識が不足し戸惑うことも少なくありません。

ワーク・ライフ・バランスについて考える際、将来的な見通しとして「介護」の問題は大きな問題の一つです。今回の講演が必要な知識や情報の獲得につながり、自らのライフプランについて考えるためのきっかけとなれば、と思います。

オープンキャンパスにて個別相談会を開催

5月17日（土）のオープンキャンパスにおいて、受験生のための相談会「不安をひとつ、とりのぞこう！」を開催しました。当日は男女合わせて24名と多数の参加がありました。

情報、バイオ、物質の3研究科に在学する女子学生の生活や研究内容などをパネルを使って、「どんな人が入学してるのかな?」「学生生活ってどんな感じなんだろう?」「研究室内の人間関係ってどうなのかな?」など、受験生が抱く素朴な疑問や不安に対する回答を分かりやすく展示しました。パネルを見た受験生からは、「実際の先輩たちの様子が分かって安心した」「研究室の雰囲気や学生生活などの写真があったので具体的によくわかった」などの声がありました。



男女関係なく多くの学生さんが足を止めてくれました!



本学女子学生の実際の学生生活について詳しい資料を展示しました。



介護保険制度の主な流れ



1. 市町村の介護保険担当窓口を利用申請します
2. 介護を必要とする人の心身の状況などを調べるために、市町村の職員やケアマネージャーによる訪問調査を受けます
3. 専門家が審査します
4. 認定結果が通知されます

- 非該当
- 要支援 1, 2 ⇒予防サービスを利用することができます
- 要介護 1～5 ⇒介護サービス（居宅サービス、施設サービスなど）を利用することができます



出張時保育制度をご存知ですか？

研究者のワーク・ライフ・バランスを図り、教育・研究業績をより一層向上させる目的のために、本学に勤務する研究者の出張時における子どもの一時預かり支援「出張時保育支援」を実施しています。下記の利用対象者に該当し、支援を希望される場合は参画室にご相談ください

【利用対象者】

- ① 本学に所属する女性研究者
- ② その他、男女共同参画室長が必要と認めた者

【支援内容】

大学の用務として行う旅行命令による国内もしくは海外出張期間中の子どもの託児に係るシッター料金を大学が支援する

【支援範囲】

利用対象者の出張期間中、1日当たり7～22時までの範囲内で子どもの託児に係るシッター料金を大学が負担する。

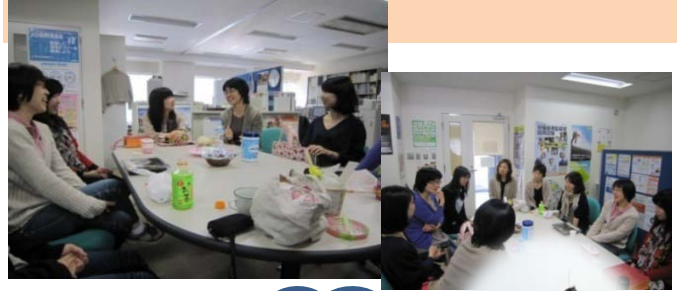
* 保育場所までの送迎や、子どもに係る経費（交通費、食費等）については対象外とする。

【保育場所】

国内出張の場合は出張先もしくは「託児室せんたん」

ランチミーティングを開催しました

参画室では、ランチミーティングを月1回（原則第1木曜）開催しています。4月10日（木）には、URAの村木先生が初参加されました。昼食をとりながら、学生指導の話、子どもの話、いろいろな話題がでました。ランチミーティングは男女共同参画に興味のある人ならだれでも参加できます。ぜひご参加ください。



本学でイクメンとして頑張っておられる男性職員さんをご紹介します！



研究協力課 若井真也さん

NAIST イクメンコラム

数年前までは、まさか自分がこうしてイクメンレポートを書いているとは全く想像していませんでした。

以前、企画総務課に所属していた頃、私自身は、まだ独身で結婚の予定も無く、独身生活を楽しんでいた頃に、男女共同参画室のメンバーに入れていただき、男女共同参画室の立上げや運営等に少し携わらせていただきました。

参画室のミーティングに参加して、様々な支援や制度等を検討する中で、育児中の先生方の色々なニーズを聞くことができました。

ただ、当時の自分自身には全然実感がなく、あまり理解できない事もありましたが、今、育児を経験している中で、当時に聞いた色々な話に少しずつ実感が湧いてきて、当時の経験が非常に役に立っています。

私の家族構成はというと、妻ともうすぐ一歳になる息子の三人家族です。

我が家は共働きで、妻の仕事の休みの関係で、日曜日は家族三人で過ごしますが、土曜日は息子と二人で過ごすことがほとんどです。

まだ子どもが小さいので、二人きりで遠出をすることは難しいため、今は近所の公園やショッピングセンターに行き遊んでいますが、これから成長していく中で、遊びの幅が広がっていき、二人で色々な遊びができるようになることが楽しみです。

妻の育休中は、家事も子育てもほとんど妻に任せておりましたが、妻が育休から仕事に復帰し、今年の4月から息子を保育園に入れたことで、今までの生活がガラッと変わりました。

まだ保育園に入って3か月しか経っておりませんが、みなさんご存知の通り、小さい子どもは体調の変化が激しく、よく熱を出して、保育園から呼び出しの電話があったり、保育園に預けられない状況になったりすることがよくあります。

保育園までのアクセスとお互いの仕事の関係上、保育園からの呼び出しは私が対応することになっていますが、本学では幸い、子の看護休暇等育児に関する様々な制度と職場の環境が整っているおかげで、これらの制度を利用して保育園に迎えに行くことができ、大変助かっています。

子供の体調不良で保育園に1週間近く預けられない時期がありましたが、お互いの仕事の都合上、毎日1日休みを取ることが難しいので、お互い半日ずつ休暇を取り、午前と午後で交互に子供の面倒を見て対応していました。

妻は時短勤務で仕事に復帰していますが、保育園の送迎や、私が仕事から帰ってくるまでの間の家事や育児があるので、妻へのサポートもできるだけ事はして、お互いのワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、協力しています。

私の仕事は主に料理と、子どもと一緒に風呂に入ることだけですが・・・

私と妻で休日が異なっているため、翌日が休日の方が子どもと一緒に寝て、翌日仕事に行く方は別室でゆっくりと睡眠を取れるシステムを導入しました。子どもはまだたまに夜中に起きて泣いたりするので、たまには静かな部屋でゆっくり寝て、リフレッシュできるようにと考えました。

最後に、共働きの家庭が多くなってきていますが、共働きでもそうでなくても、やはり父親のサポートがなければ、子育てはできないし、夫婦がお互いの状況を理解し、役割分担を行い、協力し合うことで、充実した子育てや家族の生活、みんなのワーク・ライフ・バランスが実現できるものと思います。

本学には、育休や子の看護休暇以外にも独自の制度として、一時託児制度やベビーシッター支援等の制度もあるので、必要なときには利用してみたいと思っています。育児に関する様々な制度によって仕事と育児の両立に非常に役立っていますが、それよりも職場みんなの理解と協力がなによりもありがたいです。職場の理解と協力がますます進むよう、男女共同参画室の啓発活動には協力していきたいと思っていますので、職場全体のワーク・ライフ・バランスの推進が図れることを願っています。